

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公表番号】特表2007-509903(P2007-509903A)

【公表日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-015

【出願番号】特願2006-537243(P2006-537243)

【国際特許分類】

A 6 1 K	9/50	(2006.01)
A 6 1 K	39/21	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
C 0 7 K	14/16	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	9/50	
A 6 1 K	39/21	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	47/32	
A 6 1 K	47/34	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	31/18	
C 0 7 K	14/16	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月10日(2007.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 水不溶性のポリマーまたはコポリマーを含有するコア、および

(b) 親水性のポリマーまたはコポリマーおよびイオン性またはイオン化性である官能基を含有するシェル；

を含む微粒子であって、外表面に吸着された疾患関連抗原を有する微粒子。

【請求項2】

疾患関連抗原が微生物抗原または癌関連抗原である、請求項1記載の微粒子。

【請求項3】

水不溶性ポリマーがポリ(スチレン)である、請求項1または2記載の微粒子。

【請求項4】

水不溶性ポリマーがポリ(メタクリル酸メチル)である、請求項1または2記載の微粒子。

【請求項5】

親水性ポリマーがヘミスクシナート化ポリビニルアルコールである、請求項1～4いずれか記載の微粒子。

**【請求項 6】**

親水性コポリマーがEudragit(登録商標)L100-55(メタクリル酸とアクリル酸エチルとのコポリマー)である、請求項1～4いずれか記載の微粒子。

**【請求項 7】**

該粒子が0.1～10μmの最大径を有する、請求項1～6いずれか記載の微粒子。

**【請求項 8】**

抗原がヒト免疫不全ウイルス-1(HIV-1)抗原である、請求項1～7いずれか記載の微粒子。

**【請求項 9】**

抗原がHIV-1 Tatタンパク質(配列番号：2、4、6、8、10、12、14、16、18、20、22、24、26、28、30もしくは32)またはその免疫原性断片である、請求項8記載の微粒子。

**【請求項 10】**

(a) 1種類以上の水不溶性モノマーを、1種類以上の親水性ポリマーの存在下で分散重合により重合して微粒子を形成する工程；および

(b) 前記微粒子の外表面に疾患関連抗原を吸着させる工程  
を含む、請求項1～9いずれか記載の微粒子の作製方法。

**【請求項 11】**

請求項1～9いずれか記載の微粒子および薬学的に許容され得る賦形剤を含有してなる医薬組成物。

**【請求項 12】**

治療または診断によるヒトまたは動物の身体の処置方法における使用のための、請求項1～9いずれか記載の微粒子。

**【請求項 13】**

治療または診断によるヒトまたは動物の身体の処置方法における使用のための、請求項1～9記載の医薬組成物。

**【請求項 14】**

個体において免疫応答を生じさせるための医薬の製造のための請求項1～9いずれか記載の微粒子の使用。

**【請求項 15】**

HIV感染またはAIDSの予防または処置用の医薬の製造のための請求項8または9記載の微粒子の使用。